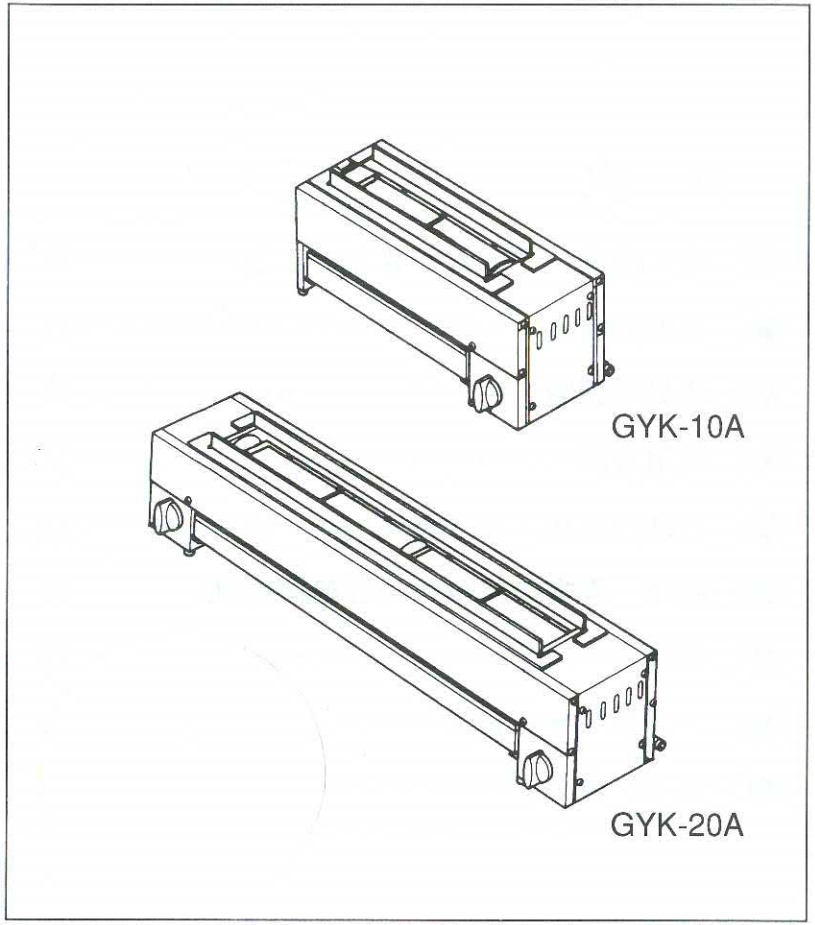
Paloma

パロマガス焼物器

業務用焼物器　GYK-10A・GYK-20A

取　扱　説　明　書



20. 3. ⑩ B 97 14001

Paloma

あ い さ つ

このたびは パロマガス焼物器 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用の前に各説明をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

目　次

■ 特に注意していただきたいこと……2
■ 各部の名称……5
■ 器具の設置……6
■ 使用方法……7
■ 日常の点検・手入れ……10
■ 故障・異常の見分け方と処置方法……11
■ 仕様……12
■ アフターサービス……13
■ 保 証 書……14

■ 特に注意していただきたいこと

■ 使用ガスについてのご注意

●器具(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。

●この器具にあうガスの種類を器体の銘板に表示してありますので、この表示とお宅に供給されているガスが一致しているかどうかをお確かめください。特に転宅時には供給されているガスの種類と銘板にご注意ください。

形　式　名ガスの種類
ガスグループ
毎時ガス消費量
製 造 年 月 製 造 番 号
パ ロ マ

ガスの種類

LPガス	
都市ガス	4A・4B・4C・5A・5AN 5B・5C・6A・6B・6C 7C・12A・13A

■ 用途についてのご注意

●調理以外の用途(炭・煉炭おこしなど)には使用しないでください。過熱・異常燃焼などによる焼損・火災などの危険があります。

●衣類の乾燥などに使用しないでください。
衣類が落下して火がつき火災になることがあります。

■ 市販の補助用具使用についてのご注意

●付属品、あるいはこの器具用の補助具以外は使用しないでください。
不完全燃焼・器体過熱火災等の危険があります。

■ 使用場所についてのご注意

●強い風の吹き込むところでは使用しないでください。風で吹き消えることがあります。

●たなの下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。

●カーテンや燃えやすいもののそばでは使用しないでください。

●家具、壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。
詳しくは6ページをお読みください。

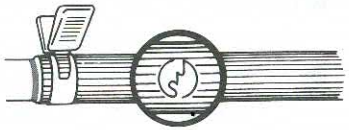
●換気(給気・排気)が十分できるところに設置してください。

■ 設置について

●正しく設置して使用してください。
詳しくは6ページをお読みください。

■ 使用上のご注意

1）ガス漏れ予防

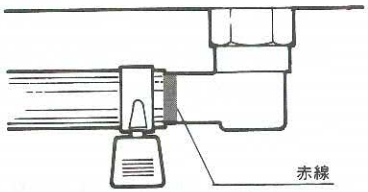


●ゴム管はガス用のゴム管（JISマーク、または「検査合格」と入った年号入りのもの）を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。

●ゴム管はできるだけ短め（2ｍ以下）にお使いください。また、折れ、ねじれ、引張りなどのないようにしてください。

●ゴム管は器具に触れたり、器具の下を通したりしないようにしてください。

●新しいゴム管を使用してください。
ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるゴム管は必ず取替えてください。
なお、半年に1回は点検してください。



●ゴム管はゴム管口の赤線まで差し込み、ゴム管止めでしっかり止めてください。

●使用時の点火・消火のほか、使用中には時どき正常に燃焼していることを確かめてください。

●使用後は必ず器具せんつまみを閉じ消火したことを確かめてください。

●お出かけやお寝みの際には、ガス元せんも必ず閉じてください。

2）火災予防

●器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。

●火をつけたままの就寝・外出は絶対にしないでください。

3）火傷のご注意

●使用中、および使用直後は耐熱ガラス、中枠、串焼き用サナ、本体上部、などは高温になっておりますので、手を触れないでください。

●使用中は、焼き面から高温の排気熱が出ますので、顔などを近づけないでください。

4）換気のご注意

●使用中は時どき窓を開けるか、換気扇を回して、お部屋の空気を入れ替えてください。
しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼により一酸化炭素中毒の危険があります。

●お部屋の換気口（給気口・排気口）は常に確保し、物などでふさがないでください。

5）ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉め、窓や戸を全部開けて、ガスを外へ出してからお買い求めの販売店かガス供給業者に連絡してください。

【注】　万一ガス漏れしたときは、電気のスイッチの開閉や、マッチ・ライター等の使用は爆発などの危険性がありますので絶対さけてください。

6）使用後の処置

●使用後は必ず器具せんつまみを閉め、消火したことを確かめてください。また就寝時や外出の際には、ガス元せんは必ず閉めてください。

7）異常時の処置

●万一、異常燃焼を起こしたときや緊急の場合、あわてずに器具せんつまみとガス元せんを閉めてください。

■ 日常の点検・手入れ

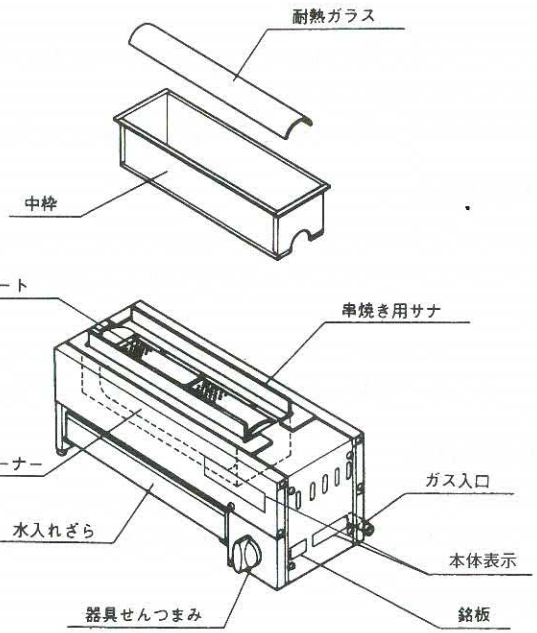
●日常の点検・手入れは必ず行ってください。
詳しくは10ページをお読み下さい。

●故障、または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

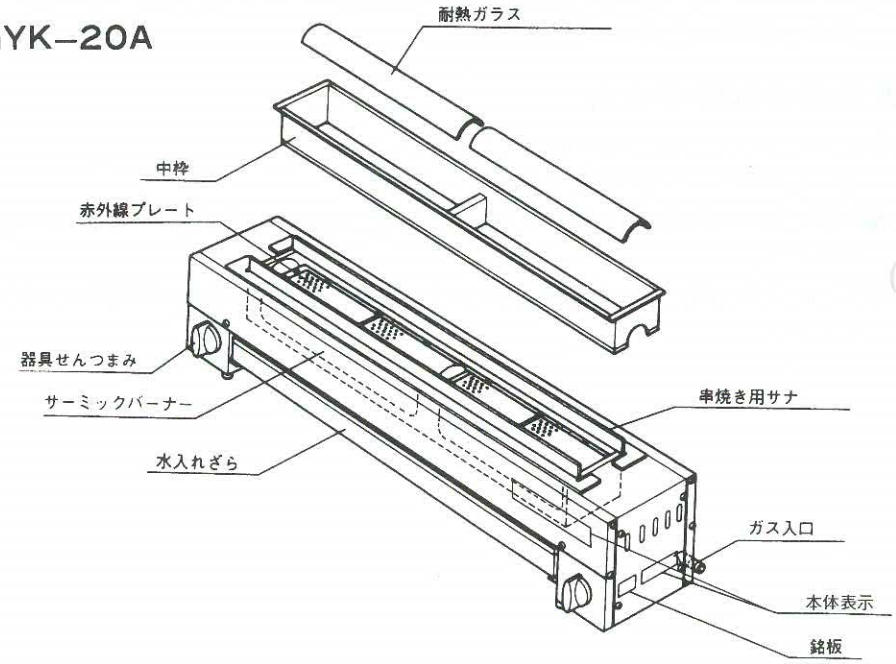
●万一、具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

■ 各部の名称

GYK−10A



GYK−20A



■ 器具の設置

器具は次の要領で安全な位置に正しく設置してください。

■ 設置前の準備

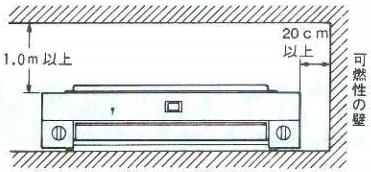
●各部分のあて紙や包装部品を取り除いてください。
●串焼き用サナ・水入れざら・耐熱ガラスを器具本体に正しくセットしてください。
●器具銘板の表示ガス(ガスグループ)とご使用になるガスとが一致しているかを確認してください。

■ 設置

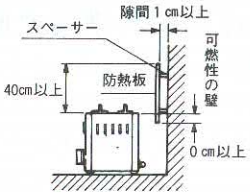
1） 設置場所および周囲の危険物、防火措置について

〈周囲に可燃物(木製の壁、たななど)のある場合〉

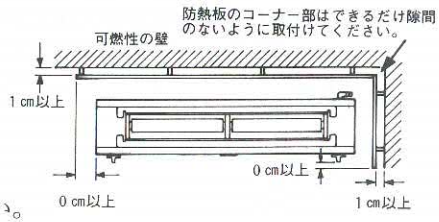
●器具の側面および背面は木製のような可燃性の壁から側面20㎝以上、背面15㎝以上離してお使いください。ステンレス板やタイルなどを可燃性の壁に直接張りつけた場合にも、伝熱がよいため、長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがありますので、必ずお守りください。



●可燃性の壁から側面20㎝以上、背面15㎝以上離れていない所に設置する場合は図のように不燃性の防熱板(厚さ6～9㎜の不燃ボード)で壁面を保護してください。



●器具と上方の天井・吊りとだなど可燃性の部分との間は1.0ｍ以上離してください。
●じょうぶで水平な台の上に設置してください。
●設置場所は換気の良い場所をお選びいただき、ご使用中は換気に注意してください。



〔注〕設置図はＧＹＫ—20Ａを参考にしてください。
ＧＹＫ—10Ａの設置もこれに準じてください。

2）ゴム管の接続

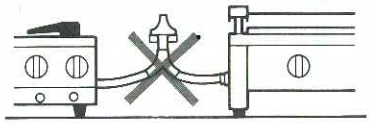
●ゴム管はガス用ゴム管（JISマーク、または「検査合格」と入った年号入りのもの）を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。

●ゴム管はゴム管口（ホースエンド）の赤線まで差し込み、ゴム管止めでしっかり止めてください。

●ゴム管の継ぎたしや二又分岐はガスもれの原因となり危険ですから行わないでください。

●ゴム管は、薬品、油などで損傷しないように注意してください。

●ゴム管の使用状態が常に点検できるようにできるだけ見える所で接続してください。



■使用方法

■ 点火前の準備と確認

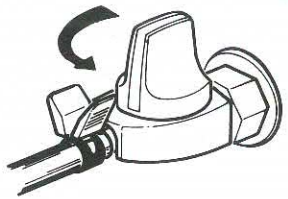
●器具の周辺に紙、プラスチック・油類など燃えやすいものがないことを確認してください。

●水入れざらに必ず水を半分ほど入れてください。

ＧＹＫ—10Ａ，約1.2 ℓ

ＧＹＫ—20Ａ，約2.4 ℓ

●すべての器具せんつまみが「**止**」の位置にあることを確認したのち、ガス元せんを全開にしてください。



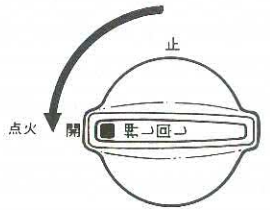
■ 点火

●ガス元せんを開け、器具せんつまみを「**開**」の方向へいっぱい押し回すと〝カチン〟と音がしてバーナーに点火します。

●万一点火しない時は、器具せんつまみをいったん「**止**」の位置まで戻し、あらためて点火操作を行ってください。

〈必ず点火を確認してください〉

●しばらく使わなかった時や初めて使う時には、ゴム管内に空気が入っておりますので、空気を追い出すために点火操作を３～４回繰り返してください。



■ 空気調節

●この器具は空気調節がしてありますので、そのまま使用してください。

●ガスが正しく燃えているかどうか、ときどき確認してください。

■ 火力調節

●器具せんつまみは「**開**」の位置で使用してください。

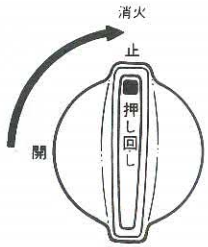
【ご注意】

器具せんつまみを「**開**」の位置より絞っても使用できますが、ガラスに肉や魚の脂が付着しやすく、また煙が発生しやすくなります。

■ 消火

●器具せんつまみを「**止**」の位置まで回すと、火が消えます。消火したことを確認してください。

●ご使用後は、必ずガス元せんを閉めてください。



■ 使い方および使用上の注意

●水入れざらに水を半分ほど入れてご使用ください。水入れざらに水を入れずに長時間使用しますと置台が過熱しますのでご注意ください。長時間使用の場合は水を追加してください。

●加熱した耐熱ガラス、串焼き用サナ、水入れざらを水などで急に冷やさないでください。変形したり、水が加熱されて飛び散ったりして危険です。

●風の吹き込みや、ふきこぼれなどによるバーナーの消火にご注意ください。

●耐熱ガラスは器具本体に正しくセットしてください。

●バーナーがひどく汚れた時は、火を消し、器具が冷えてから耐熱ガラスを取りはずして必ず掃除してから使用してください。
(「お手入れ」の項参照)

●バーナー（赤熱面）にショックを与えたり、水気がかからないようにしてください。

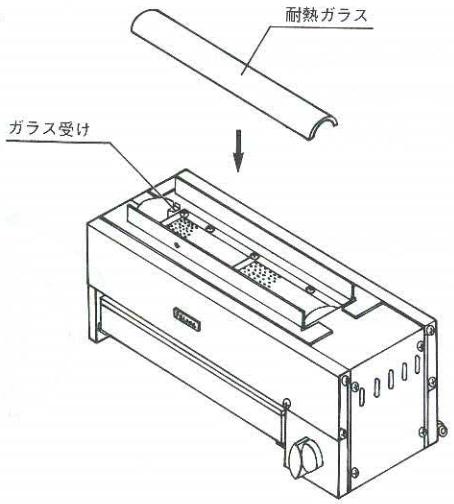
●バーナーの赤熱が極端に暗かったり、耐熱ガラスより炎があふれている場合は、もよりの販売店か、営業所へ連絡してください。

〈串焼き用サナの使い方〉

●串焼き料理にご利用ください。

●串焼き用サナの間隔は料理の大きさ(串の長さ)に合わせて調節してください。

〈耐熱ガラスをガラス受けに正しくセットしてください〉



〔注〕 図はGYK−10Aを参考にしてあります。
GYK−20Aもこれに準じてください。

■ 日常の点検・手入れ

■ 点検・手入れの際のご注意

●点検・手入れについては、下記の日常の点検・手入れ以外はお買い求めの販売店に依頼してください。

●点検で異常を見つけられたら、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

●お手入れの前にはガス元せんを閉め、器具が冷えてからお手入れをしてください。

■ 点検

●器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。

●ゴム管が古くなってひび割れしたり、器具に触れたり、折れてはいませんか。またゴム管がガス元せんやゴム管口に十分に差し込まれていますか。

●耐熱ガラス・串焼き用サナ・水入れざらなどが正しくセットされていますか。

●バーナーの炎口が詰まっていませんか。

■ お手入れ

●耐熱ガラスは使用後、完全に冷えきってしまう前に布または、スポンジにて、こびりついた焼きじるや焼きカス、塩分などを水又は温水で十分洗い流してください。

●耐熱ガラスはミガキ砂を金属たわしなどで、こすらないでください。傷をつけると割れる原因になります。

●水入れざらにたまった脂などは、水と一緒にすてるようにしてください。掃除が簡単にできます。ひどい汚れのときは中性洗剤などで水洗いしてください。

●バーナーにほこりやごみが付着したまま使用しますと、バーナーが不均一に赤熱します。電気掃除機でバーナー（赤熱面）のほこりやごみを、すいとるなどして掃除をしてください。掃除の時バーナー（赤熱面）に触れて傷をつけないように注意してください。

●水入れざらに多量の脂がたまっていませんか。

●串焼き用サナ、本体などの汚れのひどい時には、中性洗剤などで水洗いしたのち、乾いた布で水気をふき取ってください。

〈ご注意〉

●プラスチック、印刷面のお手入れには強力洗剤、シンナー、ベンジンなどを使用しないでください。

■故障・異常の見分け方と処置方法

現象／原因	点火しない	着火しない	炎が安定しない	黄炎で燃える	炎があふれる	異常音をたてて燃える	消火しない	ガスのにおいがする	器具せんつまみの操作が重い	使用中に消火する	バーナー(赤熱面)が十分赤熱しない	処置方法	参照ページ
ガス元せんが閉まっている	*											ガス元せんを開ける	7
ゴム管が折れている	*	*								*	*	ゴム管の折れをなおす	3
LPガスがなくなりかけている	*	*		*						*	*	新しいボンベと交換する	—
ガス圧が適切でない	*	*	*	*	*	*					*	販売店・ガス会社へ依頼する	—
つまみの開き不足	*	*									*	つまみを全開にする	8
ノズル詰まり	*	*		*						*	*	販売店に依頼する	—
バーナーの腐食、炎口の詰まり		*	*	*	*	*		*			*	販売店に相談してください	10
ゴム管の中に空気が残っている	*	*	*							*		点火操作を操り返す	8
器具せんの故障	*	*					*	*	*			販売店に依頼する	—
ゴム管のひび割れ・穴あき								*				新しいゴム管と交換する	3
ゴム管の接続が不完全								*				ゴム管の接続を確実にする	3.7
ガス元せんの損傷								*				販売店・ガス会社に連絡する	—
器具の損傷ほか								*				販売店に依頼する	—
リード線の接続不良	*											販売店にて接続してもらう	—
電極部の汚れ	*											乾いた布にて掃除する	—
点火装置の故障	*								*			販売店へ依頼する	—
器具の銘板と使用ガスが不一致	*	*	*	*	*	*		*		*	*	販売店に連絡する	2

ご使用中にご不審な点がございましたら、ただちに使用を中止して上記点検をしていただき、なお不審な場合はお買い求めになった販売店または当社までご連絡ください。

■仕　様

■仕　様

品名	GYK-10A	GYK-20A
種類	下火式(1連バーナー)	下火式(2連バーナー)
外形寸法(mm)	高さ214×幅454×奥行220	高さ214×幅851×奥行220
点火方式	圧電点火装置	
重量	3.3kg	6.1kg
ガス接続	φ9.5mmガス用ゴム管	
付属品	水入れざら……1枚、串焼き用サナ……2本	

■ガス消費量

型式名		GYK-10A-1	単位
都市ガス用	4A	1.70 (1460)	kW (kcal/h)
	4B	1.72 (1480)	
	4C	1.65 (1420)	
	5AN	1.81 (1560)	
	5A	1.71 (1470)	
	5B	1.71 (1470)	
	5C	1.71 (1470)	
	6A	1.72 (1480)	
	6B	1.66 (1430)	
	6C	1.58 (1360)	
	7C	1.72 (1480)	
	12A	1.63 (1400)	
	13A	1.74 (1500)	
LPガス用		1.76 (0.126)	kW(kg/h)

型式名		GYK-20A-1		単位
		個別点火時	全点火時	
都市ガス用	4A	1.73 (1490)	3.13 (2690)	kW (kcal/h)
	4B	1.76 (1510)	3.17 (2730)	
	4C	1.67 (1440)	3.03 (2610)	
	5AN	1.83 (1570)	3.33 (2860)	
	5A	1.71 (1470)	3.16 (2720)	
	5B	1.70 (1460)	3.13 (2690)	
	5C	1.63 (1400)	3.02 (2600)	
	6A	1.74 (1500)	3.37 (2900)	
	6B	1.63 (1400)	3.07 (2640)	
	6C	1.55 (1330)	2.93 (2520)	
	7C	1.67 (1440)	3.16 (2720)	
	12A	1.63 (1400)	3.20 (2750)	
	13A	1.74 (1500)	3.43 (2950)	
LPガス用		1.72 (0.123)	3.44 (0.246)	kW(kg/h)

■ アフターサービス

■サービス（点検･修理）を依頼される前に

1. 11ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
2. 確認のうえそれでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店か当社までご連絡ください。
3. アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
   （1）製品名
   （2）型式名（銘板表示のもの）
   （3）現象（できるだけ詳しく）
   （4）道順

なお、修理のご依頼は、**【電話】0120-193-860** でも24時間受付いたしますのでご利用ください。

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスコールセンター	〒001-0033 札幌市北区北３３条西７丁目１－１	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスコールセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館２０－１０	022-239-1848	022-238-0838
関　東サービスコールセンター	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-1-6藤枝ビル6階	03-3986-0860	03-3986-0895
中日本サービスコールセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町６－２３	052-824-5188	052-824-5670
近　畿サービスコールセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスコールセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋３丁目８－１２	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスコールセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南２-９-１３	092-472-0924	092-471-8400
受付時間	平日　9：00～18：30 土曜日・日曜日・祝日　9：00～17：00（修理受付のみ）		

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

■補修用性能部品の最低保有期間について

当社は当製品製造中止後5年を基準に補修用性能部品を保有しております。

■製造年月について

製造年月は、本体貼り付けの銘板でお確かめください。

〈例〉

■連絡先

補修用性能部品についての詳細、ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるとき、
その他ご不明の点はお買い求めの販売店か当社または「お客様相談室」までご連絡ください。

パロマお客様相談室　〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号　TEL 052-824-5145

保　証　書

品　名	GYK－10A・GYK－20A　ガス焼物器

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買上げ販売店またはパロマ営業所・出張所・駐在所・パロマサービスショップが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買上げの販売店またはパロマ営業所・出張所・駐在所・パロマサービスショップにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買上げ販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、パロマ営業所・出張所・駐在所・パロマサービスショップへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり、使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   (ロ) お買上げ後の取付場所の移動(取付け工事の依頼が必要な機器の場合)、落下等による故障および損傷
   (ハ) 公害、火災、水害、地震等の天災地変、異常電圧(電気部品搭載の機器の場合)、供給事情(燃料・給水等)などによる故障および損傷
   (ニ) 車輌、船舶への搭載等に使用された場合の故障および損傷
   (ホ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用　(ト) 本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

お客様	お名前	様
	ご住所〒	
	お電話　(　　)　－	

保証期間および販売店名

保証期間	お買上げ　年　月　日から１年間	
販売店	店名	㊞
	住所〒	
	電話番号　(　　)　－	

見本

株式会社パロマ
〒467-8585名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
電話（052）824－5145

修　理　記　録

年　月　日	修　理　内　容	サービス員㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。